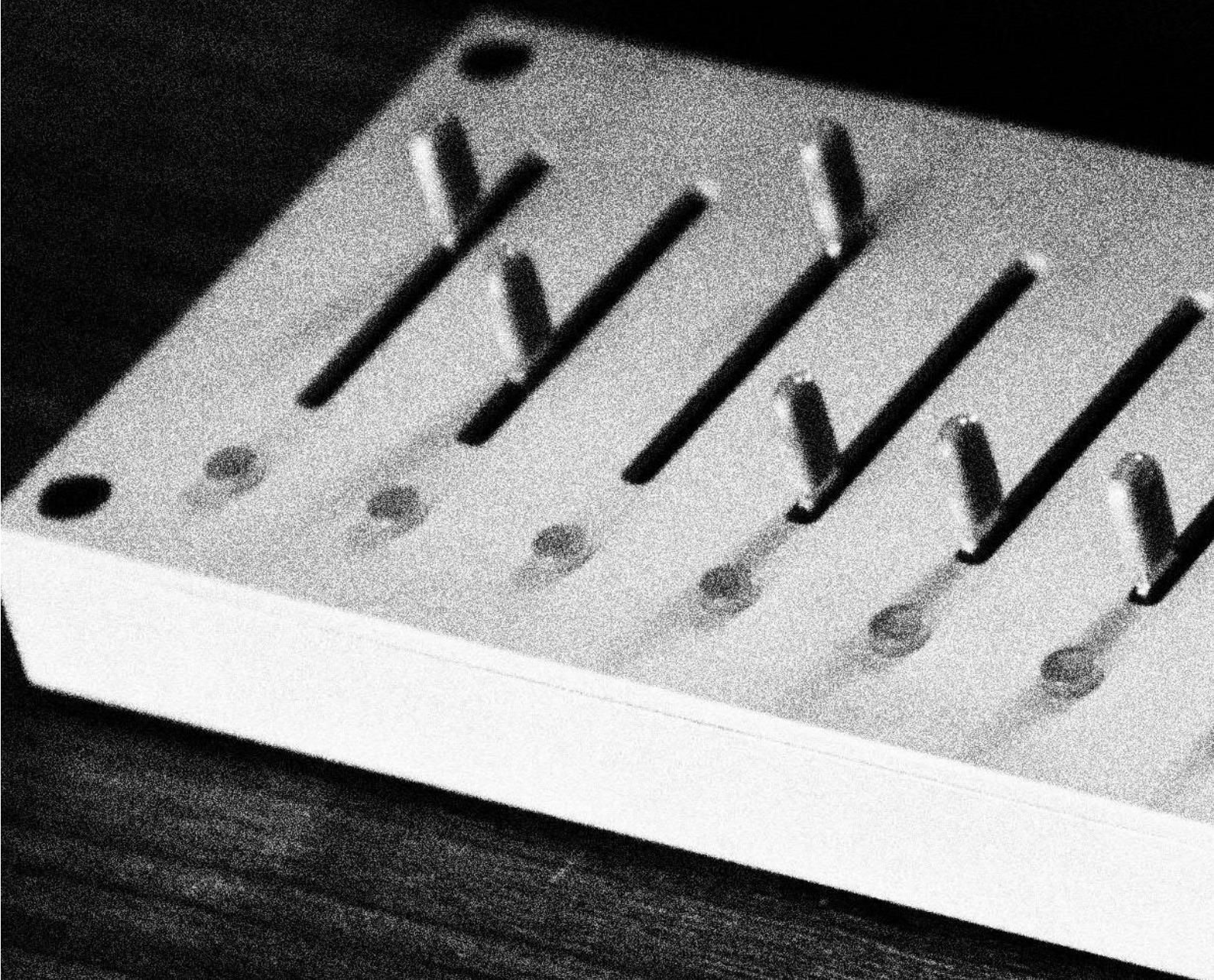


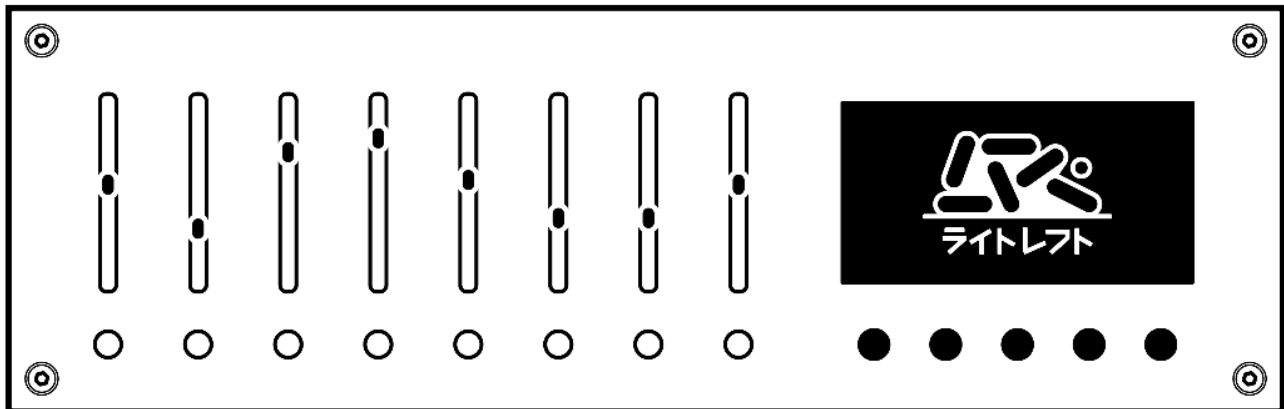
MINI

Midi Computer
Made in Japan



MONOLIT	3
仕様	3
ハードウェア入出力	4
ユーザー・インターフェイス	5
デフォルト設定	6
メイン・メニュー	6
EDIT メニュー	7
スライダーおよびボタンの編集.....	7
モード	8
CTRL モード.....	8
CC モードのボタン設定.....	9
NOTES モード.....	10
LFO モード	11
LFO SYNC.....	12
MOTION モード.....	12
PERF (パフォーマンス・モード)	14
シーケンサー.....	16
SETTINGS (トラック設定)	18
RANDOMIZER (シーケンスのランダムマイザー)	19
ASSIGN (SLOT ASSIGN)	20
SETTINGS (グローバル設定)	21
SYSTEM	21
MIDI	22
UPDATE FIRMWARE.....	23
MONOLIT ファームウェア・アップデート・ガイド	23
プリセット・マネージャー	24
プリセット名の変更	24
LOAD.....	24
SAVE	24
ウェブ・コンフィギュレーター	25
外部 MIDI デバイス	27
MIDI デバイス・モード	27
SPLIT.....	28
KEY FOLLOW	29
ARPEGGIATOR (アルペジエーター)	30
GAMEPAD (ゲームパッド)	33
MONOME GRID との接続	34
最後に	35

MONOLIT



MONOLIT は、お使いの MIDI セットアップの中核として、プログラミング、コントロール、パフォーマンスを思いのままに行えるデバイスです。すべての操作と設定は、ハードウェアから直接行えます。設定にコンピューターなどの外部機器は不要です。

フェーダーやボタンは、目的によって様々な機能を割り当てることができます。バンク、スライダー、ボタンのワークフローが限定されていないため、セットアップや演奏する楽器、作業スタイルに合わせて柔軟にカスタマイズできます。

MONOLIT は、長時間のセッションや、アイデアを試しながらセットアップを変更していくプロジェクトにも柔軟に対応できるデバイスです。シンプルな使い方から複雑なセットアップまで幅広く対応し、スタジオでもステージでも、緻密なプログラミングから直感的なパフォーマンスまで、一貫した操作感で自由にお使いいただけます。MONOLIT は使い込むほどにあなたの手に馴染み、作業スタイルを変えることなくワークフローを発展させることができます。

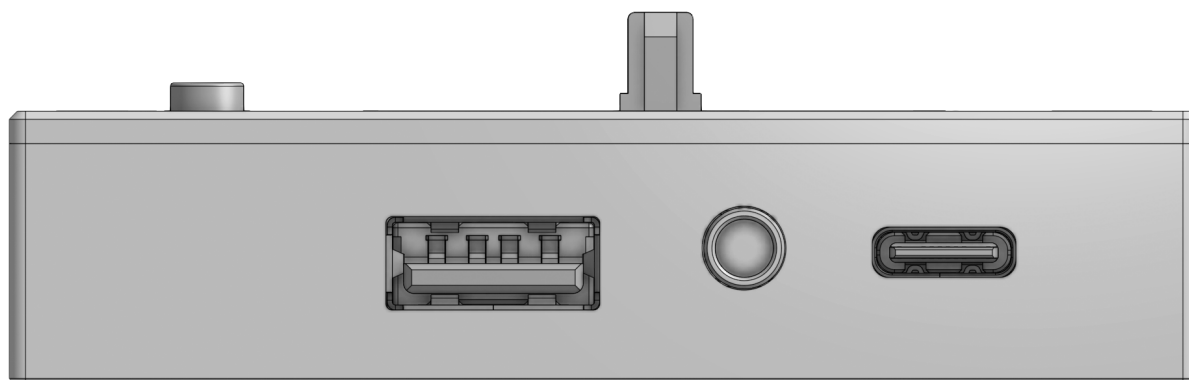
本マニュアルでは、MONOLIT の基本的な使い方や各機能の仕組みをご紹介します。MONOLIT を深く理解するには、お使いのセットアップで実際にパラメーターを割り当てながら、ご自身の制作スタイルに合ったワークフローを作ってみることをお勧めします。あとはアイデア次第。MONOLIT であなただけの最高の環境を構築できます。

仕様

- **筐体**：筐体とフロントパネルは、高精度アルミ削り出しボディを採用しています。
- **寸法および重量**：230 x 72 x 15 mm, 350g
- **ディスプレイ**：128 x 64 高輝度対応モノクロ・ディスプレイ。クリアなピクセル・フォントを採用。
- **コントロール**：8つのスライダーおよび13個のボタンで様々なコントロールが可能。
- **バンク**：8つのバンクに対応。各バンクは、従来のスライダー・バンクとして、もしくは専用のシーケンサー・トラックとして動作させることができ、バンクごとに自由にカスタマイズできます。
- **メモリ**：プリセットの保存、読み込み、編集、切り替えが簡単に行えます。
- **互換性**：MONOLIT は、MIDI をサポートするあらゆる DAW やハードウェアとシームレスに統合します。
- **接続性**：TRS MIDI (タイプ A)、USB-C、USB ホスト入力で外部機器を接続できます。
- **モード**：CC、LFO、MOTION、NOTES、SEQUENCER、PERFORMANCE など、複数のモードを利用可能です。

ハードウェア入出力

MONOLIT は、USB-C、TRS MIDI タイプ A、USB 2.0 タイプ A の 3 つの接続ポートを備えます。



MONOLIT 本体の USB-C

ポートに MIDI 出力対応の外部機器を USB-C ケーブルで接続でき、外部機器から MIDI メッセージを受信できます。

TRS

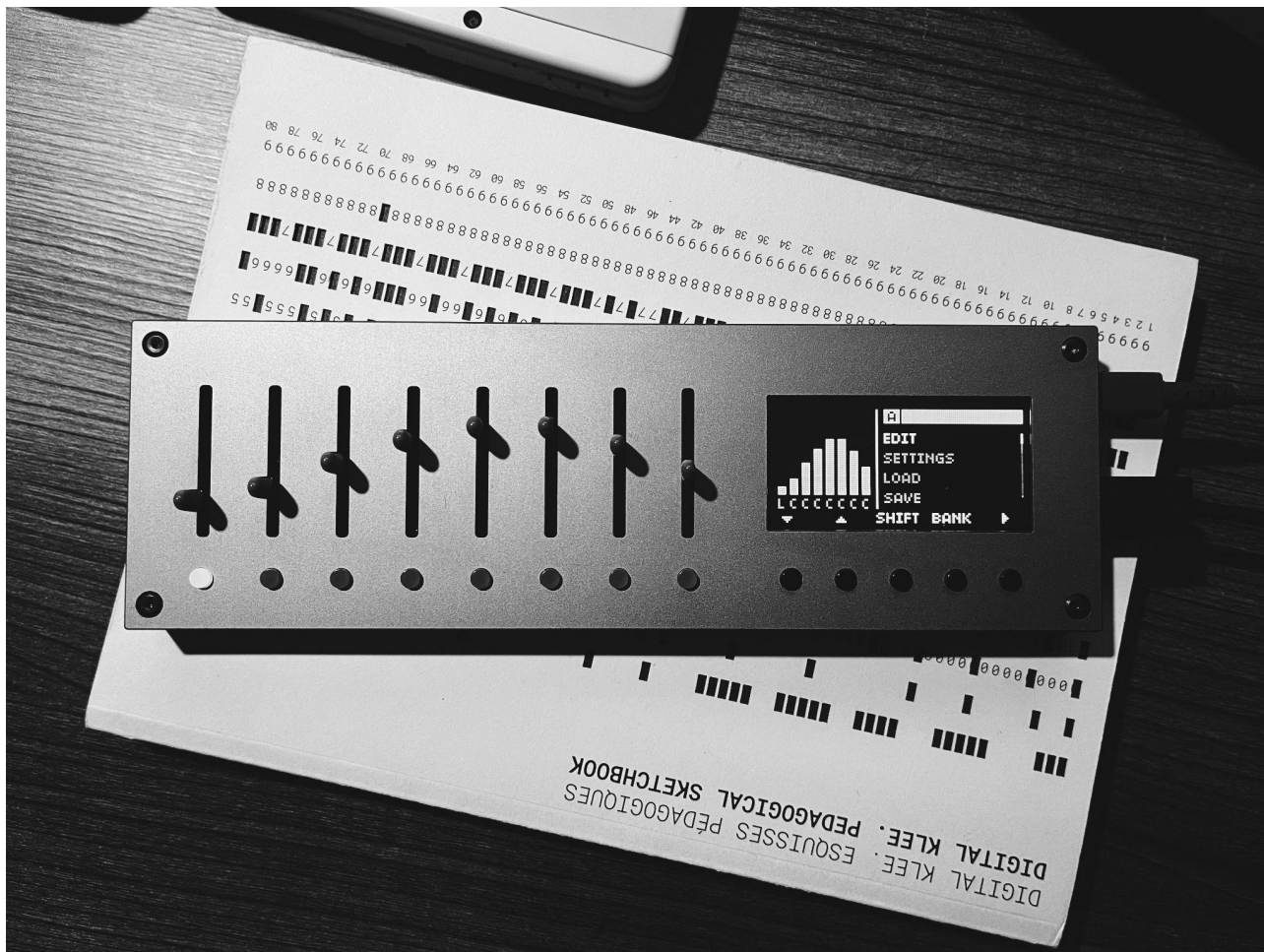
本体の TRS MIDI ポートは、MIDI メッセージを出力できます。このポートを使用することで、MONOLIT を MIDI ハブとして用いることができます。

USB 2.0 タイプ A

USB MIDI コントローラーやゲームパッドを接続できます。MIDI ポートを搭載しないデバイスも接続でき、MONOLIT の柔軟なコントロールが可能となります。USB 2.0 に準拠し、簡単なセットアップで高い信頼性と幅広い互換性を提供します。

ユーザー・インターフェイス

MONOLIT のユーザー・インターフェイスは、極めて直感的です。



本体の左側には、8 組のスライダーとボタンが配置されています。すべてのパラメーターを操作する主要なコントロール・エリアです。

右側には、ディスプレイと 5 つのメニュー用ナビゲーション・ボタンを備えます。すべてのメニュー操作は、このエリアで行います。ディスプレイには、パラメーター値、CC 番号、チャンネル、モード、編集メニューが表示され、操作中のパラメーターをリアルタイムに正確に確認できます。

画面構成は統一されており、左側がパフォーマンス／コントロール、右側が設定用エリアとなっています。スライダーやボタンを操作すると、そのパラメーターや機能、値の範囲、その他の情報がディスプレイに表示されます。設定中のコントロールとメニューが同時に表示されるため、スライダーの操作を止めることなく設定を確認・変更できます。



ノート： マニュアルの更新よりも早く新機能がリリースされることがあります。ご不明な点は、ウェブサイトのフォームからお気軽にお問い合わせください。できるだけ早くお返事できるよう、対応いたします。

デフォルト設定



起動直後の **MONOLIT** は、8 組のスライダーとボタンのすべてが **CC モード**（コントロール・チェンジ・モード）に設定されています。CC モードでは、接続中の MIDI デバイスのパラメーターを調整できます。

スライダーを動かすことで、MIDI CC 値を滑らかに遷移させることができます。初期設定では、ボタンを押すことで MIDI CC 値が最小値と最大値（0 および 127）に交互に切り替わります。このときボタンは **モメンタリ・モード** で動作し、ボタンを押すと最大値が、ボタンを離すと最小値が出力されます。

メイン・メニュー

メイン・メニュー のナビゲーションは、ディスプレイ下部のボタンで行います。ボタンは左から **カーソル移動**（上下）、**SHIFT**、**BANK**、**ENTER** ボタンとして機能します。

- **BANK** –メイン・メニューで **BANK** ボタンを押すと、選択中のプリセットに保存されている 8 つのバンクにアクセスできます。ディスプレイに表示される前/後ボタン、またはスライダー下部の対応するボタンでバンクを切り替えます。バンクは、「スライダー・モード」と「シーケンサー・モード」の 2 種類の動作モードを選択できます。モードを切り替えるには、**BANK** ボタンを長押しすると表示される **TYPE** ボタンを押します。シーケンサー・モードの詳細は、「シーケンサー」の章をご参照ください。
- **SHIFT** –**SHIFT** ボタンを押すと、追加機能（通常は機能名がディスプレイに表示）を利用できます。たとえば **SHIFT** ボタンを用いてスライダー設定をコピーすること等が可能です。またメイン・メニューで **SHIFT** ボタンを押しながら **START** を押すと内部クロックが有効になります。**TAP** をタップすると BPM を調整できます。**SHIFT** ボタンを押しながら **PANIC** ボタンを押すと、すべての MIDI メッセージ出力が停止されます。**SAVE** メニューでは、**SHIFT** ボタンで保存済みのファイルを削除できます。



ノート：**EDIT** メニューでは、**SHIFT** ボタンを押しながらスライダーを動かすことで、対応するトラックのパラメーターを変更できます。様々なパラメーターを素早く変更できる便利な機能です。**ENTER** を押しながら「+」／「-」を押すことで、パラメーターの微調整が可能です。

メイン・メニューには、以下のサブメニューが表示されます。

- ・ **EDIT** - すべてのコントロール（スライダーおよびボタン）の挙動を設定します
- ・ **SETTINGS** - MONOLIT のセットアップとリセット、ファームウェアのアップデートを行います
- ・ **LOAD** - プリセットを読み込みます
- ・ **SAVE** - プリセットを保存します
- ・ **EXTERNAL DEVICE** - 外部 MIDI デバイスに対する MONOLIT の動作を設定します
- ・ **GRID** - Monome Grid に対する MONOLIT の動作を設定します
- ・ **GAMEPAD** - ゲームパッドに対する MONOLIT の動作を設定します

EDIT メニュー



EDIT モードでは、MONOLIT の動作を設定します。高度なカスタマイズが可能です。

メイン・メニューから EDIT メニューに入るには、ディスプレイ下部のボタンを使用します。このメニューでは、各ボタンおよびスライダーの動作を変更できます。

まず、カスタマイズしたいボタンまたはスライダーを選択します。スライダー下部のボタンを押すと、それらをペアリングし編集できるようになります。

パラメーターを変更するには、ディスプレイ下部の一番右のボタンを押すか、SHIFT を押しながら目的のスライダーを変更します。

スライダーおよびボタンの編集

EDIT メニューは 2 つのセクションで構成され、スライダーとボタンの各動作を設定できます。各ボタンは、選択中のスライダーのモードによって異なる機能として動作します。本マニュアル執筆時点のファームウェアでは、ボタンの設定はスライダーの CC モードでのみ編集できます。他の 3 つのモードでは、ボタンの動作はあらかじめ設定されており変更できません。



ノート : EDIT メニューで **SHIFT** ボタンを押すと、スライダー設定のコピーとペーストが行えます。このとき、選択中のスライダーとボタンの設定が一緒にコピーされます。スライダーとボタンの設定を個別にコピー/ペーストすることはできません。

モード

EDIT メニューの最初の項目 MODE では 4 つのモードを選択でき、スライダーやボタンを異なる動作モードに切り替えることができます。モードを変更すると、関連する他のパラメーターも自動的に変更されます。

- **CC** (CC、PBEND+、PBEND-、CHNL P、POLY AT)
- **NOTES** (ノート)
- **LFO**
- **MOTION** (モーション)

CTRL モード



CTRL モードを使うと、スライダーやボタンに任意の MIDI メッセージを割り当てることができ、パラメーターを自由にコントロールできます。

- **CC** - 目的のハードウェア/ソフトウェアのパラメーターを変更するためのコントロール・チェンジ・メッセージを設定します。
- **PBEND+** - ピッチベンドのプラス方向のオフセット (ピッチ/値をアップ)。
- **PBEND-** - ピッチベンドのマイナス方向のオフセット (ピッチ/値をダウン)。
- **CHNL P** - チャンネル・プレッシャー (MIDI チャンネル全体に適用されるモノ・アフタータッチ)。
- **POLY AT** - ポリフォニック・アフタータッチ (ノートごとのアフタータッチ)。

CC パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。
- **EXT CC** - 選択中のスライダーをコントロールするためのコントロール・チェンジ信号を選択できます。MONOLIT 内部、または外部 MIDI コントローラーから制御可能です。外部 CC 番号と MIDI チャンネルを設定できます。

- **TIME** - スライダー値が出力されるまでの時間差を設定します。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。デフォルトのスライダー名は、MIDI チャンネルとメッセージ・タイプに設定されています。用途に合わせて自由にスライダー名を変更できます。名前の編集は、左側の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字を変更できます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを MONOLIT に接続することで、名前の変更をキーボードで簡単に入力することも可能です。

CC モードのボタン設定

CC モードでは、ボタンにさまざまなメッセージ・タイプ (CC、NOTE、PROGRAM、BPM) を割り当てることができます。

- **CC (コントロール・チェンジ)** - パラメーター値を変更します。
- **NOTE** - MIDI ノート・メッセージを出力します。
- **PROGRAM** - MIDI プログラム・チェンジ・メッセージを出力します。接続先のデバイスのプリセット変更などに使用できます。
- **BPM** - 内部クロックのテンポを設定します。

ボタン：CC パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **MODE** - MOMENT モードでは、ボタンを押すと高い MIDI 値が、ボタンを離すと低い MIDI 値が出力されます。TOGGLE モードでは、ボタンを押すたびに最大値と最小値が交互に出力されます。MOMENT モードと異なり、ボタンを押し続ける必要はありません。
- **CC NUM** - チャンネルごとに最大 128 個の異なるコントロール チェンジ (CC) (0 ~ 127) を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **CC STEPS** - (TOGGLE モードでのみ利用可) ボタン出力値のステップ数が増加します。最大ステップ数は、10 です。出力される MIDI 値は、最大値と最小値の間で変化します。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。
- **INVERT** - ボタンの出力値が反転します。MOMENT モードの初期設定では、ボタンを押すと最大値が、次にボタンを押すと最小値が出力されます。

ボタン：NOTE パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **MODE** - ボタンの挙動を、**MOMENT** (モメンタリ)、**TOGGLE** (トグル) から選択します。
- **NOTE** - ボタンを押すことで出力される MIDI ノートを設定します。他の設定で使用済みのノートは、ノート番号の前に小さな「x」印が表示されます。
- **VELOCITY** - MIDI ノートのトリガーまた発音中のベロシティを設定します。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。**SHIFT** ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを MONOLIT に接続することで、名前の変更を簡単に行うことができます。

ボタン：PROGRAM パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **PROGRAM NUM** - 接続先のデバイスに送信する MIDI プログラム番号を設定します。

1 つのボタンに最大 3 つのプログラム・チェンジ・メッセージを割り当てることができます。

ボタン：BPM パラメーター

BPM モードでボタンを押すと、内部クロックの BPM が変更されます。MIDI クロック関連の設定は、Settings メニューで行います。

NOTES モード



NOTES モードでは、スライダーが設定した値に達した際に MIDI ノートが出力されます。

NOTES パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **TYPE** - **TRIG** を選択すると、スライダーが設定値に達することで、対応する MIDI ノートが出力されます。このモードでは、トリガー・ポイントと MIDI ノートの長さ（音価）を設定できます。**GATE** を選択すると、特定の範囲内にある間、対応する MIDI ノートが鳴り続けます（ノート・オン状態を維持）。ボタンを押すと最後に再生されたノートに対してノート・オフメッセージが送信され、ノートが停止します（**EDIT** メニューでは **SHIFT** ボタンを押しながらボタンを押すとノート・オフが送信されます）。
- **MARGIN** - （TRIG モードでのみ有効）MIDI ノート・ポイントの間隔を設定します。
- **LENGTH** - （TRIG モードでのみ有効）トリガーされた MIDI ノートの発音時間（長さ）をミリ秒単位で設定します。
- **VELOCITY** - 出力する MIDI ノートのベロシティを設定します。
- **TIME** - スライダー値が出力されるまでの時間差を設定します。このパラメーターを用いると、NOTES モードをシーケンサーの様に使う事ができます。
- **STEPS** - スライダーに配置される MIDI ノート・ポイント数を設定します。ステップ数の最大値は 6、最小値は 2 です。
- **OFFSET** - MIDI ノートのオフセットを半音単位で設定します。
- **NOTE EDIT** - 設定したステップに対応する MIDI ノートを設定します。ディスプレイ下部の一番右のボタンでステップを切り替え、「-」 / 「+」 ボタンでノートを変更できます。SHIFT ボタンを押しながら目的のスライダーを動かすことで、MIDI ノートを素早く変更することができます。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを使用すると、項目名の変更が簡単に行えます。

現時点のファームウェアでは、NOTES モードのボタンの編集は行えません。今後のファームウェア・アップデートで対応予定です。

LFO モード



LFO モードでは、スライダーで LFO のパラメーターを変調出来ます。

LFO パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI を送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。
- **STATE** - 初期設定での LFO のオン/オフのステータスを設定します。パフォーマンス・モードでは、スライダー下部のボタンで LFO のオン/オフをその場で切り替えることができます。
- **SYNC** - LFO の速度を内部または外部 MIDI クロックと同期します。
- **RATE** - LFO の速度を Hz 単位で設定します (**RATE** をオンに設定すると、値の単位が Hz から音符単位に切り替わります。速度がテンポに同期するようになり、音価で長さを指定できます)。
- **DEPTH** - LFO の振幅を設定します。
- **WAVEFORM** - LFO の波形を、サイン波/ノコギリ波/矩形波/ランダム/リバース・ノコギリ波から選択します。
- **POLARITY** - LFO の動作をスライダーの値に応じて変化させます。POS - LFO が正の向きに動作します。スライダー値が最小値となり、それ以上の値を LFO が遷移します。NEG - POS と反対の動作をします。スライダー値が最大値となり、それ以下の範囲で LFO が遷移します。BOTH - スライダー値が中心値となり、正と負の向きに LFO が動作します。
- **EXT CC** - 選択中のスライダーをコントロールするためのコントロール・チェンジ信号を選択できます。MONOLIT 内部、または外部 MIDI コントローラーから制御可能です。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを使用すると、名前の変更が簡単に行えます。



ノート：メイン画面で**ボタン**を押すと、LFO のオン/オフが切り替わります。編集モードでは、**Shift + ボタン**で LFO のオン/オフが切り替わります。

LFO SYNC



LFO SYNC 機能を使うと、LFO の速度を MONOLIT の内部クロックまたは外部 MIDI クロックに同期させることができます。メイン画面で **SHIFT + START** を押すと内部クロックが有効に、**SHIFT + STOP** を押すと無効になります。

LFO の同期を有効にするには、メインの LFO メニューで **SYNC** を有効にします。内部クロックが選択されている場合、BPM を設定するためのメニューが表示されます。

LFO SYNC パラメーター

- **RATE** - 同期モードでの LFO の速度を設定します。
- **BPM** - 内部クロックでの LFO 同期が有効の時、LFO の速度を BPM で手動設定します。

MOTION モード



MOTION モードを使うと、スライダーの動きを記録して再生できます。パラメーターのオートメーションが可能になり、表現力豊かなモジュレーションを実現できます。ボタンを押したままスライダーを動かすと、モーション（スライダーの動き）が記録されます。

モーションは、スライダーごとに最大 10 秒間のループを記録できます。

MOTION パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号（0～127）を使用できます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **PLAY MODE** - ONE を選択すると、記録されたモーションが一度だけ再生されます。LOOP を選択すると、モーションが記録された後、ループ再生されます。
- **AUTOPLAY** - ON に設定すると、スライダーの動きの記録が完了した瞬間にモーションが自動的に再生されます。
- **RENAME** - 選択中のスライダーの名前を変更します。名前の編集は、最初の 2 つのボタンで文字の移動、スライダーで文字の変更が行えます。SHIFT ボタンを押すことで、文字を削除できます。USB キーボードを使用すると、名前の変更が簡単に行えます。

ボタンを押すと、記録したモーションが有効または無効になります。ボタンを押したままスライダーを動かすと、モーションが記録されます。

PERF (パフォーマンス・モード)



ファームウェア・バージョン2以降、バンクは2種類のモード（スライダー・モード、パフォーマンス・モード）のいずれかで動作するようになりました。

PERF モードは、**SEQUENCER (シーケンサー)**と**ASSIGN (アサイン)**の2つのメイン機能で動作します。**PERF モード**のメイン画面では、シーケンサーとして動作するバンクはスクエア表示、通常のスライダーとして動作するバンクはx印で表示されます。

画面には各スライダーに対応した8つのセルが表示されます。選択中のシーケンサー・バンクは明るく表示されます。ボタンを押すとトラックのオン/オフ（ミュート）、スライダーでトラックレベル（ベロシティ）を調整できます。

画面下部にはトラック名と MIDI チャンネル番号が表示されます。トラック名は EDIT メニューで変更可能です。操作できるのは現在選択中のバンクのみで、選択中のバンクは明るく、他のバンクは暗く表示されます。



バンク選択中に **TYPE** ボタンを押すと、バンクのタイプ（スライダーモードまたは **PERF** モード）を変更できます。

PERF モードのバンクは、3ピクセルの階段アイコン (/) で表示されます。**BANK** ボタンを押しながら操作することで、シーケンサー・トラックのコピー／ペーストも行えます。

SHIFT ボタンの動作

PERF モード画面で **SHIFT** ボタンを押すと、左から2つ目のボタンで **START** を実行できます。これにより、すべてのシーケンサー・トラックが頭から再生されます。**STOP** を押すと、シーケンサーが停止します。**START** ボタンと同じ画面には、タップテンポを入力できる **TAP** ボタン、All Notes Off メッセージを送信して発音中のノートを停止する **PANIC** ボタンがあります。

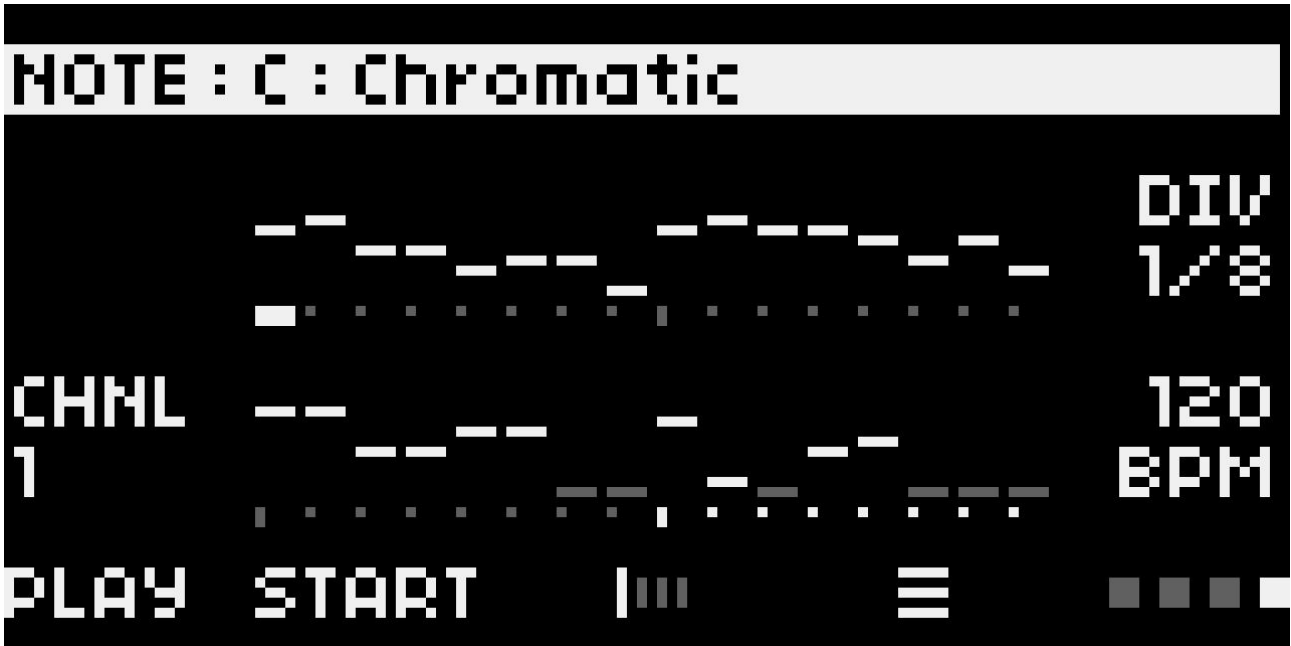
SHIFT ボタンを押しながらスライダーを操作することで、**ASSIGN** メニューで設定したパラメーターをコントロールできます。

SHIFT ボタンを押しながら各スライダーのボタンを押すと、複数トラックのミュートをまとめて設定できます。**SHIFT** ボタンを離すと、ミュートが同時に切り替わります。



ノート： クロックが LFO に同期している場合など、一部のスライダーを有効にすると、クロックが自動的に開始されることがあります。その場合はシーケンサーも自動的にスタートします。

シーケンサー



シーケンサーのメイン画面には、選択中のバンクの現在の状態が表示されます。再生/停止や各種パラメーターなど、シーケンサーのすべてのコントロールはこの画面で行えます。

画面最上部には、ノート・モードが表示されます。上図の「NOTE: C: Chromatic」は、ルート C のクロマチック・スケールでシーケンサーが動作していることを意味します。これらの設定で、シーケンスの音階的なルールが決まります。

画面中央にはシーケンサーの各ステップが表示され、アクティブなステップは横長のマーカーで点灯します。縦方向の位置がピッチを示し、ステップが再生されるかミュートされるかはマーカーの明暗で示します。下部に並ぶ淡いドットは時間軸のグリッドです。ノートの下にあるインジケーターは、現在のシーケンサー位置を示します。

左側には、選択中のバンクの MIDI チャンネルが表示されます。「CHNL 1」は、シーケンサーが MIDI チャンネル 1 のメッセージを送信することを意味します。すべての操作は、選択中のバンクのみに適用されます。

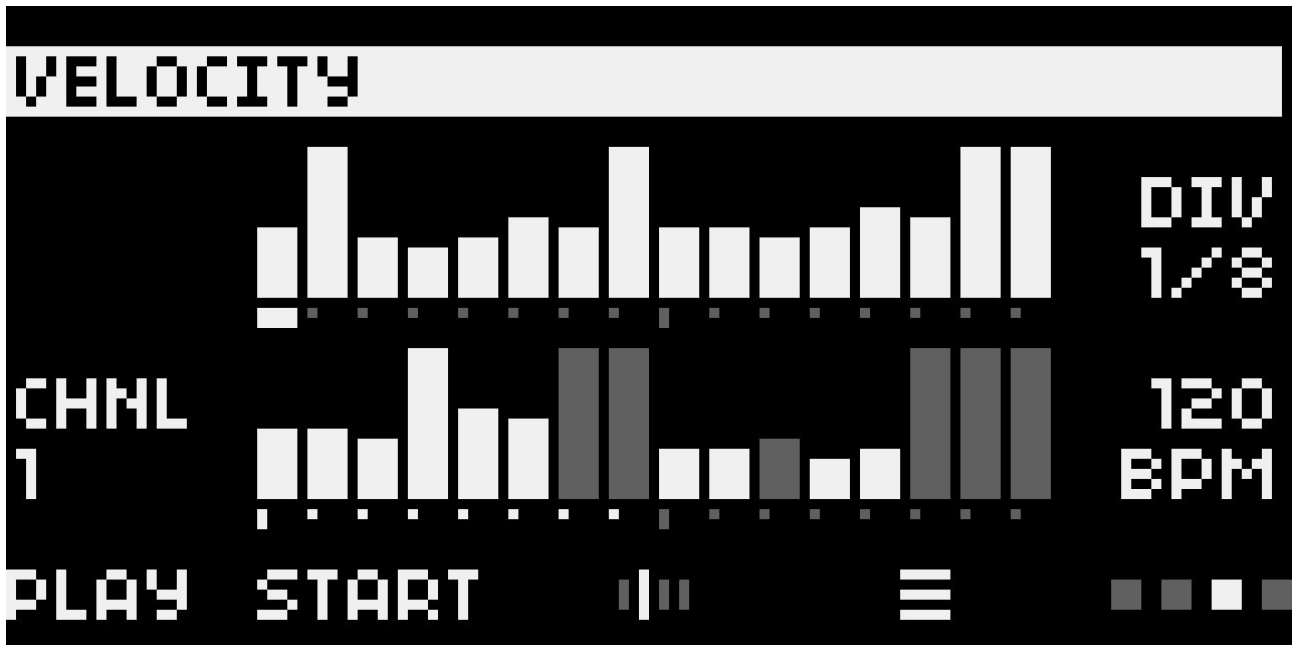
画面下部には、トランスポート・コントロールが表示されます。**PLAY** または **START** を押すと、シーケンサーの再生が開始されます。真ん中のボタンを押すことで、**VELOCITY**、**LENGTH**、**SETTINGS** 画面に切り替えることができます。

画面の右側には、主なパラメーターが表示されます。「DIV 1/8」は、ステップの長さを示します。「BPM」は、現在のテンポであり、すべてのトラックに共通のグローバル設定です。これらのパラメーターは、外部 MIDI クロックにも同期できます。下側の 4 つの四角形は、ページ 1~4 を示します。

このメイン画面では、リズムやメロディの動き、テンポ、再生状態をメニュー階層に入ることなくひと目で確認できます。



ノート: 各ステップのノートはスライダーで変更できます。さらに、スライダー下のボタンを押しながら画面の「+」「-」を操作することで、半音単位の調整も可能です。スライダー下のボタンを長押しすることでノートのコピー&ペーストもでき、ページボタンの長押しでページ全体のコピーも可能です。

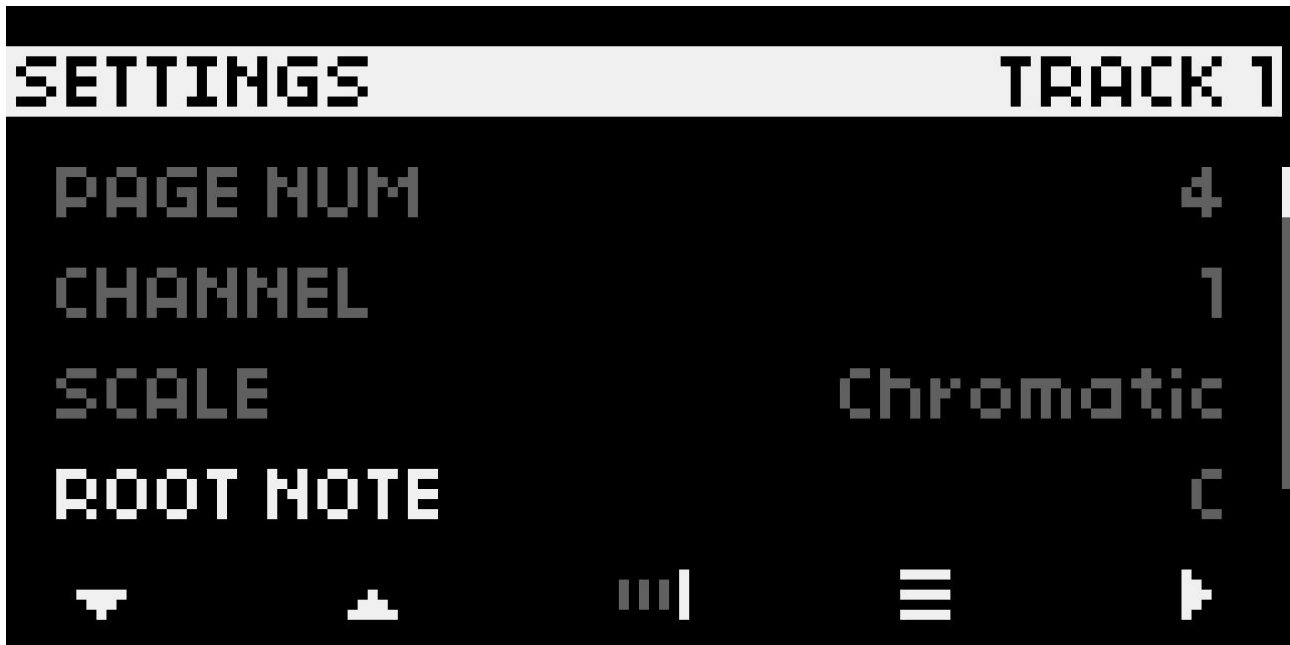


VELOCITY（ペロシティ）画面では、シーケンスのダイナミック・レベルを調整できます。各ステップが視覚的に表示され、スライダーで各ステップのペロシティ値を変更できます。スライダーの値が大きいほどノート・ペロシティが強くなり、値が低いほどソフトな発音となります。グルーブやアクセント、パターン全体のフィーリングを音の強さで表現することができます。



LENGTH（レングス）画面では、各ノートの長さを調整できます。スライダーを用いてステップごとに音の長さを設定できます。長さを短くすることでタイトでパーカッシブなサウンドとなり、長くすることでノート同士を重ねたり、より長い持続音を作ることができます。**LENGTH** を設定することでサウンドのアーティキュレーションやフレージングを調整でき、スタッカートからレガートのライン、変化するリズムカルなテクスチャーまで、幅広い音作りに活用できます。

SETTINGS (トラック設定)



SETTINGS 画面では、選択トラックの基本的なパラメーターを設定し、シーケンサーの挙動や出力されるノートを定義します。

- **PAGE NUM** - トラックのページ数を設定します。シーケンス全体の長さはこの値で決まり、ページ数を増やすことで、より長く展開のあるパターンを作成できます。
- **CHANNEL** - トラックが送信する MIDI チャンネルを設定します。トラックごとに異なる MIDI チャンネルを設定できるため、1つのシーケンサーで同時に複数の楽器をコントロールすることが可能です。
- **SCALE** - シーケンサーが使用するスケール（音階）を選択します。ノートが選択されたスケールに自動的に制限され、調和の取れたシーケンスを作りやすくなります。Chromatic（クロマチック）を選択した場合は、スケールの制限はありません。
- **ROOT NOTE** - 選択したスケールのルート音を設定します。この値を変更することで、各ステップの相関関係を保ちながらシーケンス全体をトランスポートできます。
- **DIVISION** - リズムの分解能を設定します（1/4～1/32）。値を変更するとステップの間隔が変化し、リズムの細かさやノートのタイミングを調整できます。
- **TEMPO** - BPM 単位で再生速度を設定します。内部クロック使用時にすべてのトラックに適用されます。外部 MIDI クロック使用時は、入力クロックのテンポに従います。
- **TRANSPOSE** - トラック内のすべてのノートを、指定した値だけ半音単位でシフトします。ステップ構造を変更せずに、パターン全体をすばやくトランスポートできます。
- **SWING** - ステップ間のタイミングを調整することで、リズムにグルーブを加えることができます。値が小さいとストレートなリズムに、値が大きいとシャッフル感のあるリズムとなります。ノートの並びや音程を保ちながら、タイミングのみが変化します。
- **PROBABILITY** - 各ステップが発音される確率を設定します。値が低いほどステップがスキップされやすくなり、バリエーションやジェネラティブな動きが生まれます。値が高いほど、より安定したパターンになります。プログラムしたパターンを維持したまま、不確実性を加えることができます。
- **RANDOMIZER** - ステップ位置、ベロシティ、長さを変更せず、音程のみをランダム化します。スケールとルート音が設定されている場合は、そのキーの中でランダム化されるため、音楽的な整合性を保ちながらランダムなパターンを生成できます。
- **RENAME** - 選択中のトラック名を変更します。複数のトラックを使用するセットアップでは、トラックをひと目で識別できるため便利な機能です。

- **CLEAR NOTES** - トラック内のすべてのノートを削除します。タイミング、ベロシティ、ノートの長さは削除されません。

SETTINGS 画面では、トラック全体の基本設定を行います。使用する楽器や音楽的なコンテキストに合わせてこの画面で設定を行うことで、ノート、ベロシティ、ノート長を目的に応じて柔軟に調整できます。

RANDOMIZER (シーケンスのランダムマイザー)



RANDOMIZER は、パターンのリズム構造やグルーブを変えずに音程に変化を加える機能です。

サブメニューでは、以下のパラメーターを設定できます。

- **STATE** - ランダムマイザーの有効/無効を切り替えます。
- **DISTANCE** - 元の音程からどの程度離れて変化できるかを設定します。
- **RANGE** - ランダム化に使用される音程の範囲を設定します。
- **CHANCE** - ノートにランダムマイズが実行される確率を設定します。

ASSIGN (SLOT ASSIGN)



SLOT ASSIGN は、シーケンサー操作中でも他のバンクのスライダーにアクセスできる便利な機能です。

各スロットには、任意のバンクのスライダーを割り当てることができます。これらのスロットは、**PERF** 画面に表示されるスライダーに対応します。**SHIFT** を押しながらスライダーを操作することで割り当てたスライダーを操作でき、バンクを切り替えることなく、目的のスロットに直接アクセス可能です。

シーケンサー再生中でも複数のバンクのパラメーターをリアルタイムに変更できる便利な機能です。パフォーマンスや音作りをよりスムーズに行うことができます。

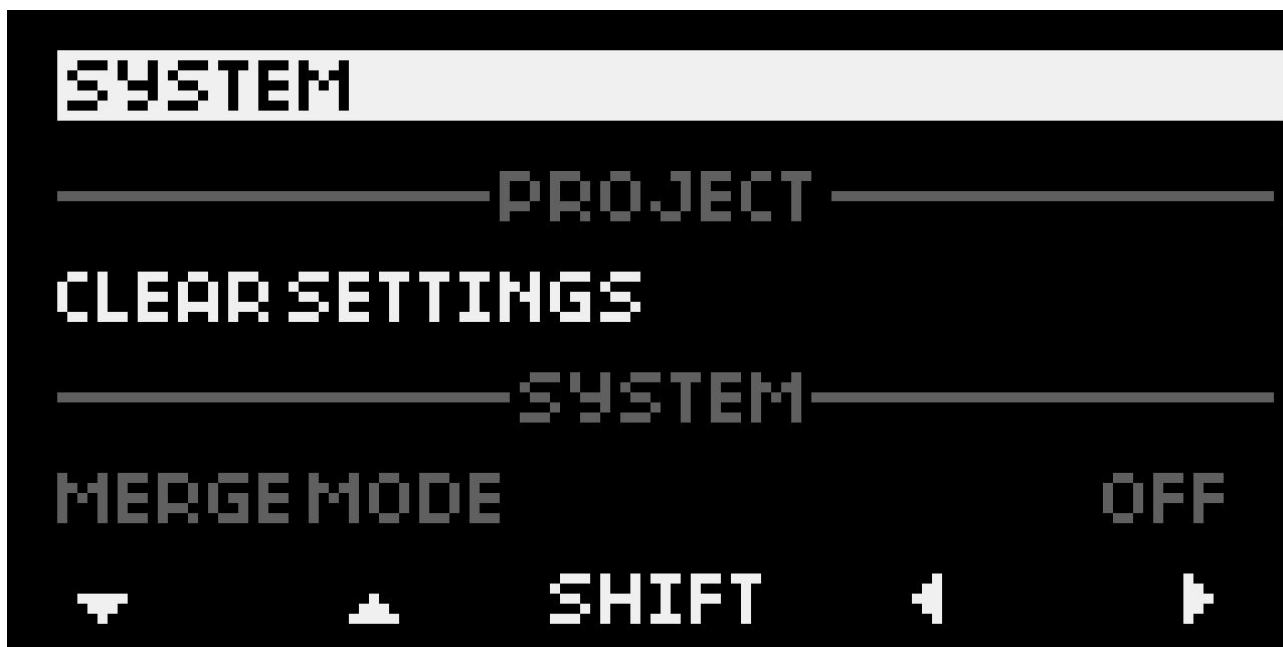
SETTINGS (グローバル設定)



MONOLIT のセットアップとリセットを行う設定メニューです。

- **INIT PRESET** - MONOLIT のプリセットをデフォルト設定にリセットします。新しいプリセットをゼロから設定し直す場合に便利な機能です。プリセットを保存しておくことで、リセットした後に元の状態に復帰させることができます。

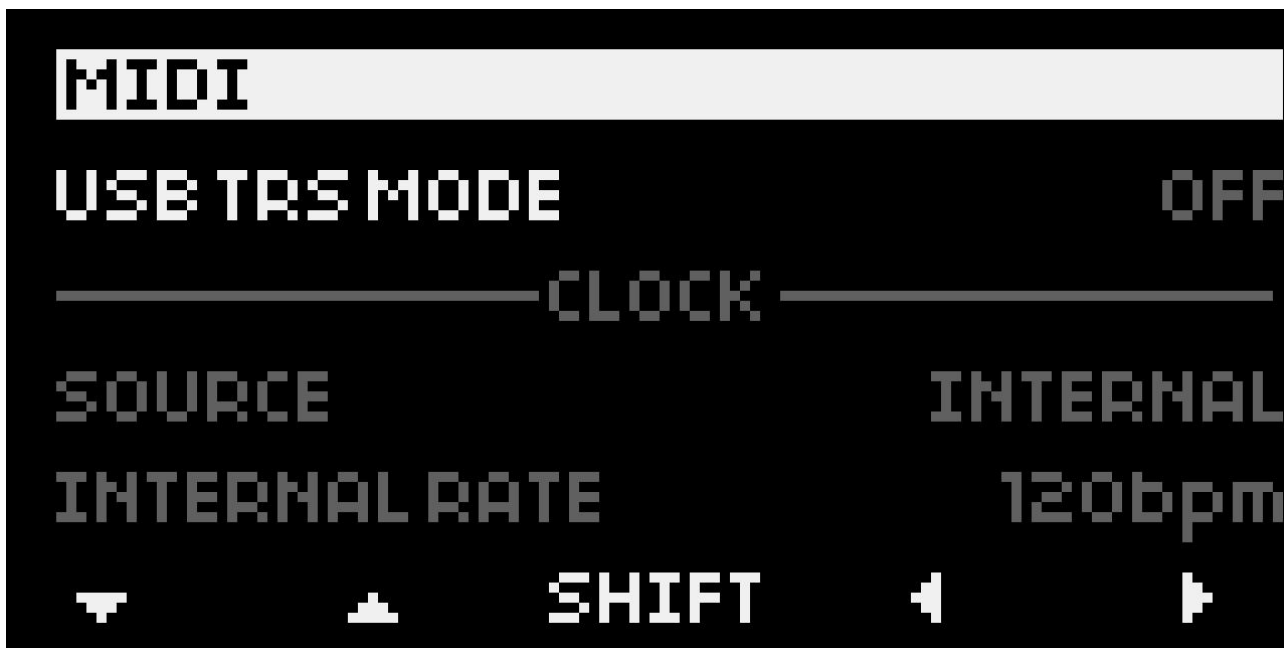
SYSTEM



- **MERGE MODE** - バンクを切り替えた際に各パラメーターが滑らかに遷移します。スライダー値が異なるバンク間を切り替える際、スライダーの現在の位置に合わせてパラメーター値が徐々に変化します。これによりパラメーターの急激な変化を防ぐことができます。
- **SCREENSAVER** - 一定時間操作がない場合にスクリーンセーバーを起動し、ディスプレイを劣化から保護します。

- **STARTUP ANIMATION** - 起動時のアニメーションを無効にします。この設定を有効にすると、MONOLIT の起動処理を早めることができます。
- **UPDATE FIRMWARE** - アップデート・モードが有効になります。MONOLIT はコンピューターの外部ドライブとして動作し、ファームウェアのアップデートが行えます。
- **FORMAT MEMORY** - メモリー設定は、独立したセクションとして表示されます。**FORMAT MEMORY** を実行すると、すべてのプリセットが削除され、デバイスが向上出荷時の状態にリセットされます。データの消失を避けるため、実行前に必ずバックアップを行ってください。

MIDI



- **USB TO TRS** - MIDI メッセージを TRS ポートから送受信します。DAW からの MIDI 信号を TRS MIDI 出力経由で外部デバイスに送信する場合などに利用できます。

CLOCK セクションでは、MIDI クロック・ソースおよび BPM 関連の設定を行います。

- **SOURCE** - クロック・ソースを選択します (INTERNAL または EXTERNAL)。
- **TEMPO** - 1 分間あたりの拍数 (BPM) を設定します。この値は、内部クロック使用時のみ有効です。
- **SIGNATURE** - シーケンスの拍子を設定します (2/4~4/4)。クロックのリスタート位置や、リズムサイクルの構成に影響するパラメーターです。
- **BARS** - シーケンスの長さを設定します (1~8 小節)。クロックが何小節ごとにリスタートし、シーケンスがループするかを決定します。

UPDATE FIRMWARE

MONOLIT がアップデート・モードに切り替わります。コンピューターに接続すると MONOLIT が外部ドライブとして表示されます。



ノート：MONOLIT の電源がオフの状態です。左の黒いボタンを押しながらコンピューターに接続すると、MONOLIT が**アップデート・モード**として起動します。

MONOLIT ファームウェア・アップデート・ガイド

1. MONOLIT をコンピューターに接続

USB ケーブルで MONOLIT とコンピューターを接続します。

2. UPDATE メニューを開く

- メニューから SETTINGS > UPDATE FIRMWARE を選択します。
- または、ディスプレイ下部左の黒いボタンを押しながら USB ケーブルを接続します。

3. コンピューターで MONOLIT が外部ドライブとして表示されるのを確認

アップデート・モードになると、MONOLIT は外部ドライブとしてコンピューターに表示されます。

4. ファームウェア・ファイルをアップデート

- コンピューターに表示されたドライブの最上位のファームウェア・ファイルがあることを確認します。
- 古い.bin ファイルは削除してください。
- 新しいファームウェア・ファイルを同じフォルダにコピーします。

5. アップデートを実行

ファームウェア・ファイルを入れ替えると、MONOLIT は自動的に再起動し、アップデートが完了します。

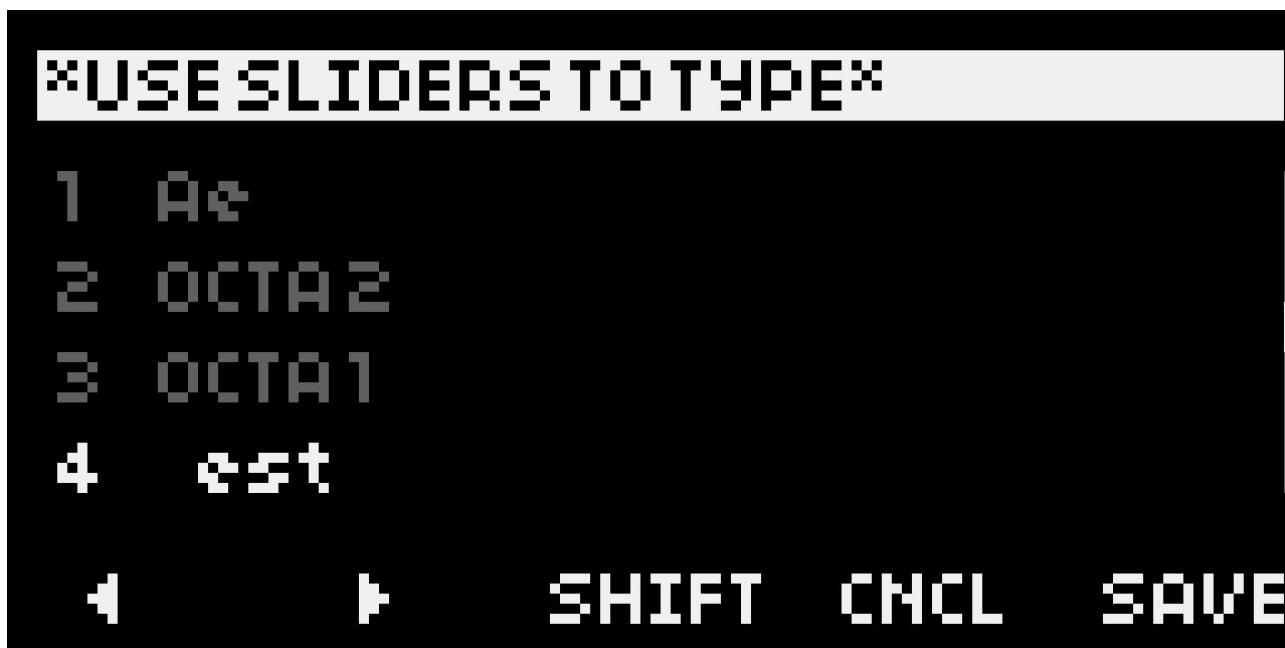


ノート：必ず先に古いファームウェア・ファイルを削除してから、新しいファームウェア・ファイルをコピーしてください。そうしないと、システムの誤作動を引き起こす可能性があります。アップデート中にエラーが発生し、MONOLIT が起動しなくなった場合は、ディスプレイ下部の左のボタンを押しながらケーブルを接続し、MONOLIT をアップデート・モードで起動した後、上記のアップデート工程を再度行って下さい。

プリセット・マネージャー

MONOLIT では、現在の状態をプリセットとして保存できます。複雑な設定を保存し、後で素早く呼び出すことができます。各プリセットには 8 つのバンク（アルファベット順に A～H）が含まれ、選択中のプリセット内で別々の設定として機能します。複数の構成を 1 つのプリセットにまとめることができるため、ワークフローの柔軟性を高めることができます。

プリセット名の変更



プリセット名の設定方法は、スライダーやボタンの名称変更の場合と同様です。本体のボタンで文字を移動し、スライダーで文字を変更します。USB キーボードを MONOLIT に接続することで、名前の変更を簡単に行うことができます。

LOAD

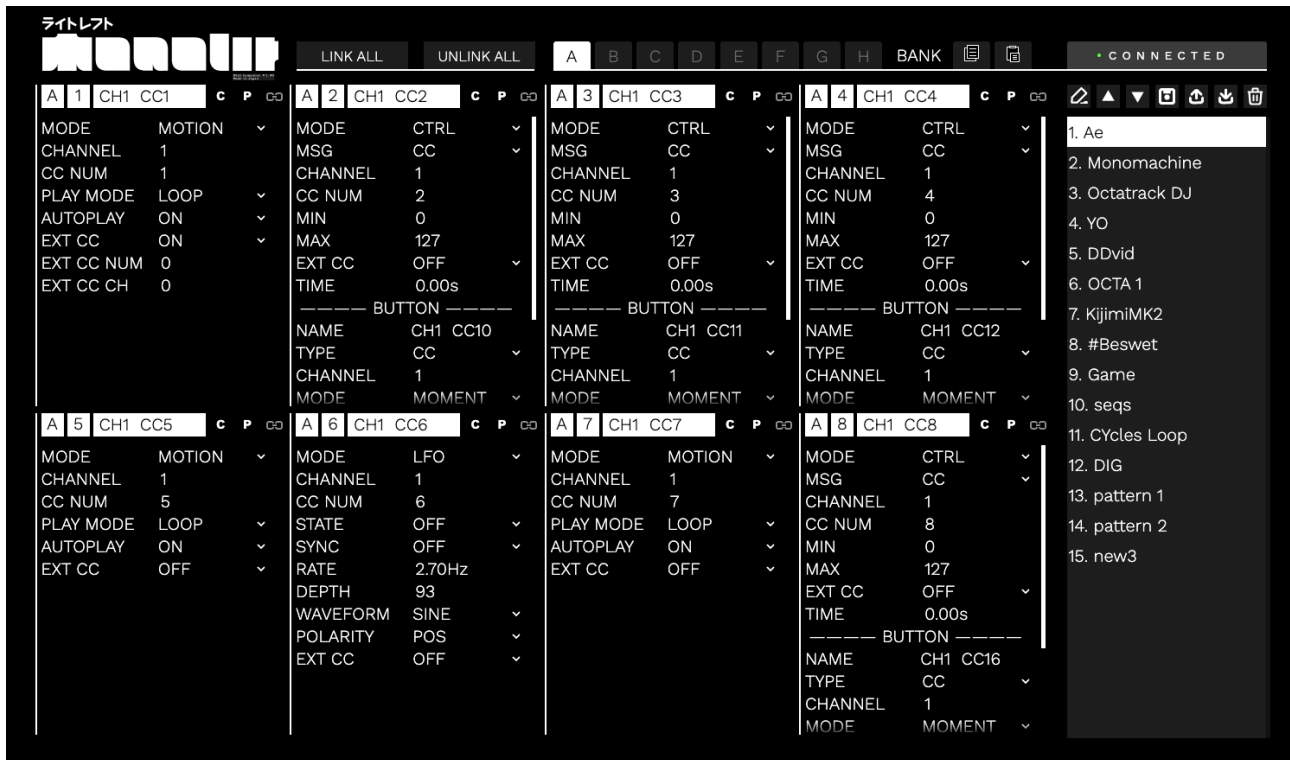
LOAD 機能を使うと、保存済みのプリセットを読み込むことができます。リストから目的のプリセットを選択するだけで、設定を復元できます。

SAVE

SAVE 機能を使うと、現在の状態をプリセットとして MONOLIT に保存できます。すべてのスライダーの位置やボタン設定、その他のパラメーターを保存することができます。

プリセット機能は、MONOLIT の設定を簡単かつ効率的に管理するために作られました。プリセットを活用することで、お使いの場面に応じて MONOLIT を様々な用途で使い分けることができます。

ウェブ・コンフィギュレーター



ウェブ・コンフィギュレーターは、コンピューターから MONOLIT の設定を作成・編集・管理できる便利なツールです。すべての変更はリアルタイムで反映されるため、デバイスを操作しながら目的の設定をすぐに確認できます。

ウェブ・コンフィギュレーターは、Google Chrome ブラウザから利用できます。その他のブラウザでの動作は保証されていません。ウェブ・コンフィギュレーターを使用するには、MONOLIT をコンピューターに接続し、<https://monolit.jp/>にアクセスします。

画面には、すべてのバンク、スライダー、ボタンが分かりやすく一覧表示されます。各スライダー、ボタンは、モード、MIDI メッセージタイプ、チャンネル、CC 番号、値の範囲、挙動などを詳細に設定できます。Motion、LFO、External CC などの高度な機能にも対応します。これにより、ハードウェア本体では設定が難しい複雑なコンフィギュレーションも簡単に設定可能です。

スライダーとバンクは横並びに表示されるため、パラメーターの比較、コピー、リンクのオン／オフを簡単に行えます。画面の「C」、「P」ボタンを使うことで、コピー＆ペーストが行えます。鎖の LINK アイコンは、バンク内の複数のスライダーをグループ化します。LINK 機能を使うことで、同じパラメーターを一度に編集できます。

パラメーター値は、キーボードで直接入力するか、マウスを上下にドラッグすることで変更できます。

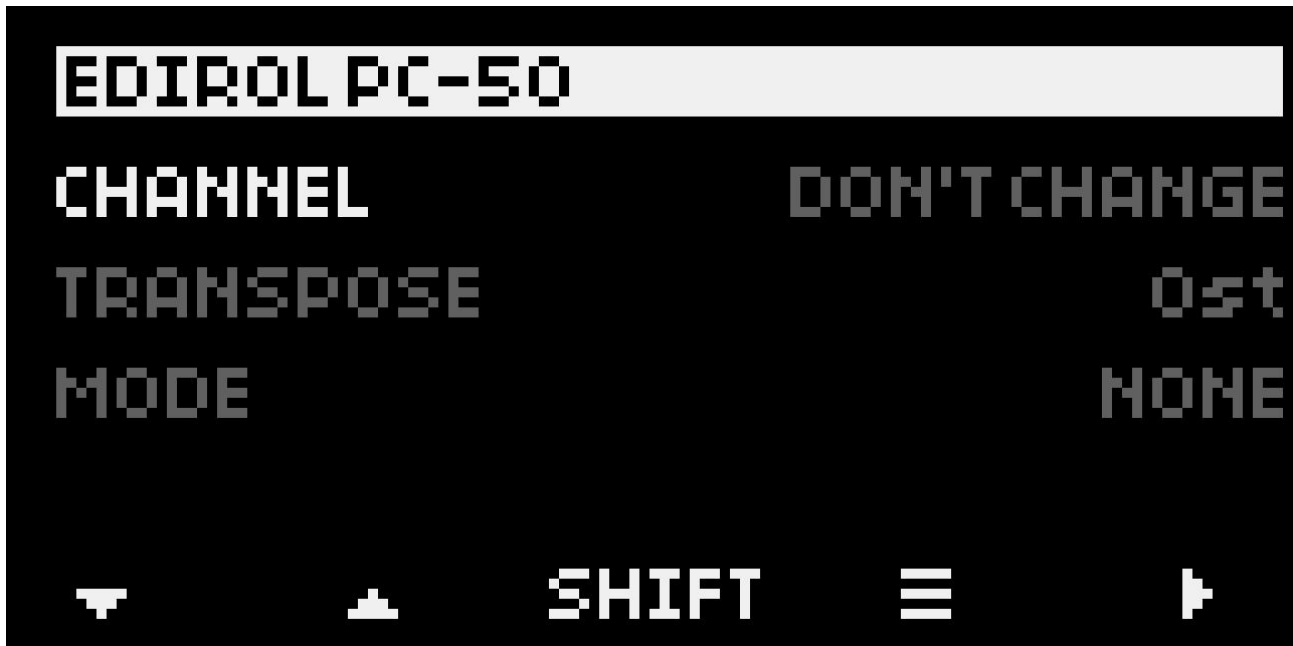
コンフィギュレーション設定は、保存、名前変更、読み込みが可能です。設定のエクスポート／インポートは、ウェブ・コンフィギュレーターの目玉機能の一つです。これにより、バックアップの作成、他のユーザーとのプリセット共有が簡単に行えます。

ウェブ・コンフィギュレーターで設定を行うと、その内容は MONOLIT 本体に直接送信され、ハードウェアとウェブ・インターフェース間で完全に同期されます。複雑なセットアップは見やすいウェブ・コンフィギュレーターで行い、実際のパフォーマンスや直感的なコントロールは MONOLIT 本体で行うことができ、これまで以上に柔軟かつ高度に MONOLIT をお使いいただけます。



ノート：現時点では、ウェブ・コンフィギュレーターは MONOLIT のすべての機能の編集に対応していません。ウェブ・コンフィギュレーターは現在も機能拡張を続けており、今後のアップデートでさらに改善されていく予定です。

外部 MIDI デバイス



USB 2.0 タイプ A ポートに外部 MIDI デバイスを接続すると、ディスプレイの左上に小さな四角形が点滅して表示され、接続が成功したことを示します。

MIDI DEVICE メニューにて、MONOLIT が外部 MIDI デバイスから入力されるメッセージをどのように処理／送信するかを設定できます。

パラメーター

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。「DON'T CHANGE」を選択すると、入力されたメッセージの MIDI チャンネルを変更せずにそのまま出力します（スルー出力）。
- **TRANSPOSE** - 入力されたすべての MIDI ノートを指定した半音単位で移行（トランスポーズ）し、素早いピッチ調整を行います。
- **MODE** - 受信した MIDI メッセージを処理するアルゴリズムを選択します。

MIDI デバイス・モード

- **NONE** - 外部 MIDI デバイスからのメッセージを変更せずにそのまま出力します。
- **SPLIT** - 入力された MIDI ノートを、上下 2 つのレイヤーに分割して取り扱います。各レイヤーには異なる MIDI チャンネルを設定できるため、1 台の鍵盤で 2 種類の異なるシンセやサウンドを演奏することが可能になります。
- **KEY FOLLOW** - 入力された MIDI ノートを CC（コントロール・チェンジ）MIDI メッセージに変換します。**MUTE NOTE** がオフの場合は、演奏された MIDI ノートもそのまま出力されます。
- **ARPEGGIATOR** - 入力中の MIDI ノートでリズムカルなパターンを生成します。スケールやランダムマイズの設定も可能です。

SPLIT



SPLIT モードは、入力された MIDI ノートを上下 2 つのレイヤーに分割します。各レイヤーは MIDI ノートの範囲を指定でき、異なる MIDI チャンネルを割り当てることもできます。**SPLIT** モードを使うと、1 台の MIDI キーボードで 2 種類の異なる楽器やサウンドを同時に演奏・コントロールすることができます。たとえば、下のレイヤーにシンセ・ベースを、上のレイヤーにリード音割り当てることで、別々のシンセによるベースとリードを同じ鍵盤で同時に演奏することができます。

- **SPLIT POINT** - 上下 2 つのレイヤーの分割点となるノートを指定します。このノートより低い音程は下のレイヤー、高い音程は上のレイヤーとして扱われます。

LOWER (下のレイヤー)

- **CHANNEL** - 下のレイヤーに割り当てる MIDI チャンネルを設定します。
- **TRANSPOSE** - 下のレイヤーに入力されたすべての MIDI ノートを指定した半音単位で移行（トランスポーズ）します。

UPPER (上のレイヤー)

- **CHANNEL** - 上のレイヤーに割り当てる MIDI チャンネルを設定します。
- **TRANSPOSE** - 下のレイヤーに入力されたすべての MIDI ノートを指定した半音単位で移行（トランスポーズ）します。

KEY FOLLOW



KEY FOLLOW モードは、入力された MIDI ノートを **CC (コントロール・チェンジ)** メッセージに変換します。この機能を使うと、鍵盤の演奏でパラメーターをダイナミックにコントロールできます。表現力豊かなモジュレーションが可能になるほか、特定の範囲のノートのパラメーターのコントロールに割り当てることが可能になります。**MUTE NOTE** パラメーターをオフにすることで、生成された CC メッセージと共にオリジナルの MIDI ノートをパススルー出力することができます。

パラメーター

- **CC NUM** - CC 番号を指定します。チャンネル毎に最大 128 の CC 番号 (0~127) を割り当てることができます。既に割り当て済みの CC 番号は、番号の前に「x」印が表示されます。
- **NOTE MIN** - CC メッセージに変換する MIDI ノート範囲の最低音を設定します。
- **NOTE MAX** - CC メッセージに変換する MIDI ノート範囲の最高音を設定します。
- **CC MIN** - 送信する CC メッセージの最小値を設定します。
- **CC MAX** - 送信する CC メッセージの最大値を設定します。
- **MUTE NOTE** - MIDI ノート・メッセージの出力を無効にします。

ARPEGGIATOR (アルペジエーター)



ARPEGGIATOR は、入力中の MIDI ノートを指定した順序とテンポで繰り返すことで、リズムカルなパターンを生成します。指定したキーに音階が収まる**スケール選択**や、パターンに変化を与える**ランダマイズ**の設定も可能です。アルペジエーターを使うことで、ダイナミックなメロディーやテクスチャー、リズムカルなシーケンスをリアルタイムに作成できます。

パラメーター

- **STATE** - アルペジエーターのオン/オフを切り替えます。
- **STYLE** - 様々なアルペジエーター・スタイルを切り替えます。
 1. **UP** - 入力されたノートを用いて上昇するメロディーを生成します。
 2. **DOWN** - 入力されたノートを用いて下降するメロディーを生成します。
 3. **UP DOWN** - メロディーが上昇と下降を繰り返します。最低音と最高音は繰り返されません。
 4. **UP AND DOWN** - メロディーが上昇と下降を繰り返します。最低音と最高音は繰り返されます。
 5. **PINKY UP** - 入力中のコードの最高音とその他のノートを交互に再生します。最高音以外のノートは下から上の順番に発音されます。
 6. **PINKY UP DOWN** - 入力中のコードの最高音とその他のノートを交互に再生します。最高音以外のノートは、下から上、上から下の順番に繰り返されます。
 7. **THUMB UP** - 入力中のコードの最低音とその他のノートを交互に再生します。最低音以外のノートは下から上の順番に発音されます。
 8. **THUMB UP DOWN** - 入力中のコードの最低音とその他のノートを交互に再生します。最低音以外のノートは、下から上、上から下の順番に繰り返されます。
 9. **PLAY ORDER** - MIDI ノートが入力された（鍵盤を押さえた）順番にアルペジオが生成されます。
 10. **CHORD** - 入力中の MIDI ノートによるコードを繰り返し発音します。
 11. **RANDOM** - 入力中の MIDI ノートからランダムに選択されたノートでアルペジオを作成します。
 12. **RANDOM ONCE** - 入力中の MIDI ノートからランダムなパターンを作成し、それを繰り返します。

- **SCALE** - アルペジオのノートをクリックするためのスケールを設定します。メジャーやマイナーなどのスケールでは、ルート音を設定することができます。
 1. **MAJOR** - メジャー・スケール
 2. **MINOR** - マイナー・スケール
 3. **DORIAN** - ドリアン・モード
 4. **MIXOLYDIAN** - ミクソリディアン・モード
 5. **LYDIAN** - リディアン・モード
 6. **PHRYGIAN** - フリジアン・モード
 7. **LOCRIAN** - ロクリアン・モード
 8. **WHOLE TONE** - ホールトーン・スケール
 9. **HALF-WHOLE DIM.** - ハーフ・ホール・ディミニッシュ・スケール
 10. **WHOLE-HALF DIM.** - ホール・ハーフ・ディミニッシュ・スケール
 11. **MINOR BLUES** - マイナー・ブルース・スケール
 12. **MINOR PENTATONIC** - マイナー・ペンタトニック・スケール
 13. **MAJOR PENTATONIC** - メジャー・ペンタトニック・スケール
 14. **HARMONIC MINOR** - ハーモニック・マイナー・スケール
 15. **HARMONIC MAJOR** - ハーモニック・メジャー・スケール
 16. **DORIAN #4** - ドリアン#4 スケール
 17. **PHRYGIAN DOMINANT** - フリジアン・ドミナント・モード
 18. **MELODIC MINOR** - メロディック・マイナー・スケール
 19. **LYDIAN AUGMENTED** - リディアン・オーグメンテッド・スケール
 20. **LYDIAN DOMINANT** - リディアン・ドミナント・モード
 21. **SUPER LOCRIAN** - スーパー・ロクリアン・スケール
 22. **8-TONE SPANISH** - 8 トーン・スパニッシュ・スケール
 23. **BHAIRAV** - バイラヴ・インド音階
 24. **HUNGARIAN MINOR** - ハンガリアン・マイナー・スケール
 25. **HIRAJOSHI** - 平調子、和音階
 26. **IN-SEN** - 陰旋、和音階
 27. **IWATO** - 岩戸調子、和音階
 28. **KUMOI** - 雲井調子、和音階
 29. **PELOG SELISIR** - Pelog Selisir、インドネシア音階
 30. **PELOG TEMBUNG** - Pelog Tembung、インドネシア音階

- **ROOT** - (該当するスケールでのみアクティブ) 選択したスケールのルート音を設定します。
- **BPM** - アルペジエーターの1分間あたりの拍数を設定します。
- **CLOCK MULTIPLIER** - BPM に対するアルペジエーターの倍数を2連符/3連符単位で設定します。
- **STEPS** - アルペジエーターが生成するパターンのノート間隔を追加します。
- **DISTANCE** - 入力中のMIDIノートに対する次の追加ステップの半音単位のシフト値

RANDOMIZER

STATE	OFF
DISTANCE	12
RANGE	0
CHANCE	0
↓	↑
SHIFT	
←	→

- **RANDOMIZER** - 生成されたメロディーにバリエーションを加えるための追加設定です。アルペジエーターが生成した MIDI ノートがランダムに移行されます。このとき音程は選択したスケールにクオンタイズされるため、キーが外れることはありません。

パラメーター

- **STATE** - RANDOMIZER のオン/オフを切り替えます。
- **DISTANCE** - アルペジエーターが生成する MIDI ノートをランダムに移行させる音程を半音単位で設定します。
- **RANGE** - ランダムに移行された MIDI ノートの半音単位の偏差。
- **CHANCE** - MIDI ノートをランダムに変化させる確率。
- **SIGN** - RANDOMIZER が MIDI ノートに移行させる方向を設定します。
 1. **ADD** - MIDI ノートを高くする範囲を半音単位で指定します。
 2. **SUB** - MIDI ノートを低くする範囲を半音単位で指定します。
 3. **BI** - MIDI ノートを高く、または低くする範囲を半音単位で指定します（両方向）。

GAMEPAD (ゲームパッド)

ゲームパッドを接続する

MONOLIT は標準的なゲームパッドを接続でき、ゲームパッドの操作を自動的に MIDI メッセージに変換することができます。ゲームパッドは、MONOLIT の USB 2.0 タイプ A 入力端子に接続できます。標準的なほとんどのゲームパッドを利用可能です。ゲームパッドを MONOLIT に接続し操作すると、ディスプレイ左上に小さく **G** のアイコンが表示されます。

GAMEPAD メニューでは、MONOLIT がゲームパッドからの情報をどのように解釈して MIDI メッセージとして送信するかを設定できます。

ゲームパッドを操作すると、対応する項目名がディスプレイに表示されます。設定したいボタンを操作し、動作を割り当てることができます。ゲームパッドのコントロールは、**ボタン**と**軸**の 2 種類に分かれています。

- **ボタン**は、MIDI CC または MIDI ノート・メッセージのいずれかを送信できます。
- **軸** MIDI CC メッセージにのみ変換されます。

ボタンのパラメーター

- **STATE** - ボタンの有効/無効を切り替えます。
- **TYPE** - ボタンで送信するメッセージを **NOTE** または **CC** から選択します。
 - a. **NOTE** を選択すると、ボタンは MIDI ノート・メッセージを送信します。
 - b. **CC** を選択すると、ボタンは CC (コントロール・チェンジ) メッセージを送信します。
- **CHANNEL** - メッセージを送信するための MIDI チャンネルを設定します。
- **NOTE** (*[NOTE] 選択時のみ*) - ボタンによってトリガーされる MIDI ノート番号を設定します。
- **VELOCITY** (*[NOTE] 選択時のみ*) - トリガーされた MIDI ノートのベロシティ (ダイナミクス) を設定します。
- **MODE** (*[CC] 選択時のみ*) - ボタンの挙動を設定します。
 - a. **MOMENT** : ボタンを押している間は高い MIDI 値を、ボタンを離すと低い MIDI 値を送信します。
 - b. **TOGGLE** : ボタンを押すたびに MIDI 値の高低を切り替えます。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を割り当てることができます。
- **INVERT** - ボタンの動作を反転します。この設定を有効にすると初期値が高い (HIGH) 値となり、ボタンを押すことで低い (LOW) 値が送信されます。

軸のパラメーター

- **STATE** - 軸コントローラーの有効/無効を切り替えます。
- **CC NUM** - CC 番号を設定します。チャンネル毎に 128 までの CC 番号 (0~127) を割り当てることができます。
- **CHANNEL** - メッセージを送信するための MIDI チャンネルを設定します。
- **MIN** - 送信する MIDI メッセージの最小値を設定します。
- **MAX** - 送信する MIDI メッセージの最大値を設定します。

ゲームパッドを接続することで MONOLIT は様々な場面で活躍します。スタジオやライブ・パフォーマンスなど、ゲームパッドを MIDI マッピングし、クリエイティブに再利用することができます。

MONOME GRID との接続

MONOLIT は、USB 2.0 タイプ A ポートを用いて **MONOME GRID** を接続できます。現時点のファームウェアでは、スケール選択可能な MIDI キーボードとして GRID を使用できます。Ableton Push や LinnStrument と同様のノート・レイアウトで演奏可能です。

この機能は実験的なものですが、今後も積極的に新機能を導入する予定です。私たちは MONOME の熱心なファンであり、彼らのカルチャーへの貢献を高く評価しています。GRID と MONOLIT の統合には大きな可能性があるはずです。

GRID メニューのパラメーター：

- **CHANNEL** - MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。
- **SCALE** - GRID で使用するスケールを選択します。選択したスケールのノートで GRID を演奏できます。
- **KEY** - 選択したスケールのルート音を設定します。
- **VELOCITY** - 演奏するノートのペロシティを設定します。
- **OFFSET** - 選択したスケールまたは鍵盤を、設定した値（半音単位）だけ上下にシフトします。

最後に

MONOLIT は、あなたに寄り添い、刺激的な創作活動をサポートします。お使いのセットアップに自然に溶け込み、外部機器やソフトウェアの柔軟なコントロールを、実験的なアプローチと共に提供します。

MONOLIT は、日々進化し続けるデバイスです。新機能やアップデートが、マニュアルの更新より先に追加される場合もあります。不明な点、分からない操作方法がある場合は、お気軽にサポートチームにお問い合わせください。

皆様からのフィードバックは大切に受け止めております。いただいたご意見は、MONOLIT の将来的なアップデートや、今後開発される製品づくりに活かされます。

MONOLIT の世界によろこ。

クリエイティブに楽しみましょう！

<https://www.lightreft.jp>